

新任役員(執行役員並びに取締役内部昇進者を 主たる対象者とする)研修プログラム

～短期集中～

《テーマとねらい》

【 これからの企業経営と役員に必須の要件の修得をめざす 】

期 間 2019年9月5日(木)10:00～18:40

会 場 経営研究所 会議室

定 員 20社限定(各社5名まで)

参加費 各社1名につき 50,000円 (各社5名まで参加可能)

※御一人様での参加も可能でございます。

講師陣

富山 和彦 (株式会社経営共創基盤代表取締役CEO／

公益社団法人経済同友会副代表幹事)

村瀬 孝子 (鳥飼総合法律事務所パートナー 弁護士)

國廣 正 (国広総合法律事務所パートナー 弁護士)

石野 雄一 (財務戦略コンサルタント 株式会社オントラック代表取締役)

松田 千恵子 (首都大学東京大学院教授)

吉松 加雄 (日本電産株式会社前CFO、首都大学東京大学院特任教授)

内野 崇 (学習院大学名誉教授)

一般社団法人 経営研究所

【 内部昇進者を主たる対象者とする新任役員

(執行役員並びに取締役)研修プログラムのご案内 】

今問われているのは、現場力に加え、経営力！改めて経営とは何か？これからの経営者の要諦とは何か—経営の本質を問い、経営を担うことの自覚を促す機会としたい。経営マターとはそもそも何か？経営にどうコミットすべきか？現状を見るに、一般的な役員像、スタンスは、変革志向というよりはむしろ、安全運転・現状維持(大過なく)・継続性重視に偏し、サラリーパーソンの延長のポストになっていないか？ガバナンスコードの要請でもある—役員研修の義務付けの受け皿の必要性に応じていく場の提供も意図している

<5つのコアとなる基本的な内容>

- ① 経営の本質を問う—これからのトップマネジメントとその体制のあり方を問う
- ② 取締役(執行役員)の権限と責任—法的な視点(会社法・民法・金商法・上場会社規則等)から
- ③ 経営とこれからのガバナンスのあり方について
- ④ 経営の数値の理解を深める—経理・財務的な視点とポートフォリオ経営について
- ⑤ 現役経営者、豊かな経営経験を有する経営者による実践型講話と対話
皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

【2019年9月5日(木)】

10:00～18:40

10:00～12:00	「これからの経営と経営者のあり方を問う」 富山 和彦 氏【経営共創基盤代表取締役 CEO／ 公益社団法人経済同友会副代表幹事】
12:00～13:00	昼食、名刺交換会
13:00～14:20	「役員の権限と責任—法的視点から」 村瀬 孝子 氏【鳥飼総合法律事務所パートナー 弁護士】
14:30～15:50	「ガバナンスの本質を語る」 國廣 正 氏【国広総合法律事務所パートナー 弁護士】
16:00～17:10	「会計とファイナンスの基本」 石野 雄一 氏【財務戦略コンサルタント／株式会社オントラック代表取締役】
17:20～18:40 (ディスカッション)	「これからの企業経営を語る」 松田 千恵子 氏【首都大学東京大学院教授】 吉松 加雄 氏【日本電産株式会社前 CFO、首都大学東京大学院特任教授】

(テーマは仮題となります)

【講師陣紹介】

富山 和彦

株式会社経営共創基盤代表取締役CEO・公益社団法人経済同友会副代表幹事。

＜主な著書＞『挫折力』、『会社は頭から腐る』、『カイシャ維新 変革期の資本主義の教科書』、『結果を出すリーダーはみな非情である』、『IGPI流 経営分析のリアル・ノウハウ』、『IGPI流 セルフマネジメントのリアル・ノウハウ』、『稼ぐ力を取り戻せ！日本のモノづくり復活の処方箋』、『なぜローカル経済から日本は甦るのか G&Lの経済成長戦略』、『選択と捨象』、『地方消滅 創生戦略篇』、『決定版 これがガバナンス経営だ！』、『IGPI流ローカル企業復活のリアル・ノウハウ』、『有名企業からの脱出 ～あなたの仕事人生が手遅れになる前に』、『AI経営で会社は甦る』、『社長の条件』など。

村瀬 孝子

お茶の水女子大学卒業を卒業し、一般企業に勤務。その後司法試験に合格。現在、鳥飼総合法律事務所パートナー。取締役会・株主総会指導、企業再編、その他の会社法関連法務、契約書作成、労働問題その他の企業法務全般、相続・事業承継の法務のほか、各種セミナー講師を務める。そのレクチャーは“明解で分かりやすい”と好評である。

國廣 正

東京大学法学部卒業。現在、国広総合法律事務所パートナー。我が国のガバナンス論の第一人者。専門分野は、訴訟(会社法・金融商品取引法などの領域)、企業の危機管理(適時開示・プレス対応・監督当局対応を含むクライシスマネジメントの立案・実行、重大・緊急案件の社内調査)、企業のリスク管理体制構築(コンプライアンス・内部統制・)コーポレートガバナンス。＜主な著書＞『内部統制とは、こういうことだったのか』(共著、2007年)、『なぜ企業不祥事は、なくなるのか』(共著、2005年)(いずれも日本経済新聞社)などがある。

石野 雄一

旧三菱銀行、インディアナ大学(MBA課程)修了。日産自動車(株)財務部にてキャッシュ・マネジメント、リスクマネジメント業務を担当。旧ブーズ・アレン・ハミルトンにて企業戦略立案、実行支援等に携わる。株式会社オントラックを設立。事業投資・撤退基準策定・導入支援コンサルティング、プロジェクトファイナンスのCFモデルの構築支援、ファイナンス、財務モデリングの研修事業を行っている。CAC Holdings社外監査役。著書に『道具としてのファイナンス』(日本実業出版社)、『ざっくり分かるファイナンス～経営センスを磨くための財務課～』(光文社新書)などがある。

松田千恵子

首都大学東京大学院教授。東京外国語大学外国語学部卒業。仏国立ポンゼ・ショセ国際経営大学院経営学修士。筑波大学大学院企業科学専攻博士課程修了。博士(経営学)。日本長期信用銀行、ムーディーズジャパン格付けアナリストを経て、コーポレートディレクションおよびブーズ・アンド・カンパニーでパートナーを務める。企業経営と資本市場との間に横たわるような問題に関するアドバイザー、研究および教育を行う。日本CFO協会主任研究委員。公的機関、上場企業の社外役員等を務める。主な著書に『格付けはなぜ下がるのか～大倒産時代の信用リスク入門』(日経BP社)、『戦略的コーポレートファイナンス』『成功するグローバルM&A』(以上、中央経済社)『グループ経営入門』(税務経理協会)、『これならわかるコーポレートガバナンスの教科書』『ESG経営を強くするコーポレートガバナンスの実践』(以上、日経BP社)等。

吉松 加雄

慶應義塾大学経済学部卒業後、スタンフォード大学経営大学院修了。三菱電機株式会社入社。三菱電機在籍中に英国、シンガポール、アメリカの現地法人で経理財務の責任者を歴任。その後、サン・マイクロシステムズ株式会社・エスエス製薬株式会社等のCFOを経て、日本電産株式会社入社。同年取締役執行役員、2009年取締役常務執行役員兼CFOに就任。現在、首都大学東京大学院経営学研究科特任教授、京都先端科学大学客員教授。

内野 崇

東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、学習院大学名誉教授。現在、学習院大学名誉教授。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカデミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。株式会社関電工取締役。著書に『新版 変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)ほか多数。

【経営研究所とは】

経営研究所は昭和21年に故高宮晋先生(東大、一橋大、上智大名誉教授)によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。

1996年より故土屋守章(東京大学名誉教授)が、さらに2010年6月より寺本義也(前早稲田大学大学院教授)が引き継ぎ、2013年9月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。

創立以来70有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013年10月をもって改めて21世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。

『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙いとしています。

【経営研究所の活動と特色】

～わが国を代表する産・官・学の各界の“知と人”を結集した『研究会』が活動のメイン！～

経営研究所は、経営の根幹にかかわるテーマごとに研究会を設け、各研究会の活動を経営研究所のコアにしています。各研究会にあっては、講義形式、セミナー形式をとらず、実務者、研究者等を中心に参加メンバーの知的格闘技を重視し、毎回、わが国を代表する多彩なゲストを招聘し、ゲストのプレゼンテーションにつづいて、参加者(ビジネスパーソンと研究者が中心)との間で、各回1時間ないし1時間半にわたって議論を重ねます。

単なる勉強の場にとどまることなく、その論議を通じて問題を深く掘り下げ、また参加者が相互に切磋琢磨するとともに、実務上、研究上の新しい着想と、知らぬに実践への指針を得ることをめざします。各研究会は、上記の研究会活動を通じて、それぞれに質の高い提言と討論がなされるのみならず、しっかりしたドキュメントを提供します。

【参加申込方法】

参加費 各社1名につき 50,000 円。(各社 5 名まで参加可能)
 ※御一人様での参加も可能でございます。

申込方法 所定申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくは FAX でご送付下さい。
 参加は会社単位で、1 社 5 名の登録ができます。
 登録者以外の代理出席をご遠慮いただいております。

連絡先 一般社団法人 経営研究所 事務局
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビルB1F
 TEL:03-5220-2881 / FAX:03-3217-0208
 E-mail: keieikenkyusho@keieik.or.jp / URL: http://www.keieik.or.jp

会場案内図



【三菱ビルへの行き方】

- JR
 「東京駅」(丸の内南口).....徒歩約3分
 京葉線「東京駅」10 番出口より直結
- 地下鉄
 千代田線「二重橋前駅」4番出口.....徒歩約2分
 丸ノ内線「東京駅」地下道経由.....徒歩約3分
 都営三田線「大手町駅」D1出口.....徒歩約4分
 東西線「大手町駅」B1出口.....徒歩約6分

2019年 9 月 5 日 (木)

新任役員 (執行役員並びに取締役) 研修プログラム 参加申込書

年 月 日

会社名

所在地 〒

登録者氏名	TEL
	E-mail
所属部署および役職名	
登録者氏名	TEL
	E-mail
所属部署および役職名	
登録者氏名	TEL
	E-mail
所属部署および役職名	
登録者氏名	TEL
	E-mail
所属部署および役職名	